

# SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行 No. 29

発行日：2014年3月1日(土)



地域企業紹介 [その 29]

株式会社オンザウェイ

## 支え・支えられて "on the way"

町田市にある無線機の販売・リース・レンタルを手掛ける株式会社オンザウェイ本社を訪ねました。お話をいただいたのは社長の野中元樹さん。

起業のきっかけがなかなか面白い。野中さんは出版社での勤めを経て、父親の事業を盛りたてたいとの思いから25才で父親が経営する会社に入社する。父親の会社は大手電機メーカーの通信システムの調整や保守を請け負う協力会社。営業マンだった野中さんは邪魔物のように扱われ裏口からしか入れてもらえない、それが屈辱的で、何としても正面玄関から堂々と入りたいと思ったそうだ。そこで、この会社の無線機を取扱う販売代理店となり、5年後の1991年に無線機販売部門を分離させる形で起業する。マンションの小さな一室、社員5人でスタートする。最初はトラックやタクシーで使う無線機の販売が主だったそうだ。アスクルの販売店など時代を先取りするような事業にも取組むが思うようにいかず創業7年目に大きな赤字を出すことになる。創業期からの従業員

は退職していき、野中さんも精神的に追い詰められたという。そんなある時、友人から「マクドナルドのイベント運営で1日だけ無線機を10台借りられないか」という問い合わせが。そこで、全国のイベント会社にDMを打ってみると無線機のレンタルの需要が結構あることが分かり、レンタル事業を1998年に、リース事業を2001年に開始することになる。オンザウェイが飛躍するターニングポイントだろう。今ではアフリカ開発会議などの国際会議、東京マラソン、東京モーターショウなどのビッグイベントから町内会のお祭りまであらゆるイベントから声がかかる。大きなイベントでは1千台を

(2面につづく)

株式会社オンザウェイ

代表取締役社長 野中 元樹

所在地：東京都町田市中町3-10-6

従業員数：35名 資本金：4,000万円

売上高：11億円（平成24年度実績）

事業内容：無線機の販売・リース・レンタル、無線機のサービス・サポート、オフィス用品・現場用品の通販

貸出すこともあるそうだ。また、トラック、タクシー、警備会社、レストラン、ホテル、学校、映画館など全国1000事業所に常時1万台近くの無線機を貸出している。日本中の無線機を必要とする現場をオンザウェイが支えているのだ。

オンザウェイの強みはなんだろうか。それは現場での的確な判断を下せる能力を持ち、また顧客と強い絆で結ばれているスタッフの存在だろう。無線機のレンタル・リースは大きなリスクを伴う。1台10万円もする無線機を自社で保有し、顧客に直接貸出し、回収する。紛失、故障、料金回収など様々なリスクが待ち構えている。そんなリスクを克服し、多くの実績をつくっているのは現場の最前線で働くスタッフの力だ。

野中さんには社長と部下という感覚はないそうだ。自分より能

力の高いスタッフがたくさんいるし、自発的になんでもやってくれる。そんなスタッフと一緒に仕事ができることがなにより楽しく幸せを感じると言う。

そんな野中さんの思いを表すため、今回の表紙はスタッフとの集合写真になりました。さて、野中さんはどこにいるのでしょうか。答えはSICのホームページに掲載します。ご覧ください。



オンザウェイが商品企画から手がけた新製品「ニーノ」。従来のトランシーバーとマイクの間をワイヤレス化しました。

## 日本出願のみならず外国出願にも精通！

### 特許業務法人 大貫小竹国際特許事務所

特許業務法人大貫小竹国際特許事務所は、昭和46年渋谷に設立し、平成13年12月に相模原オフィスをSICに開設しました。

同事務所は、企業の盛衰を司る知的財産権の取得と保護を国内外を問わず、技術と法律を駆使して的確にアドバイスする総合的な特許事務所を目指しています。取り扱っている業務は次の通りですが、日本出願のみならず外国出願にも精通しています。

- 特許、実用新案、意匠、商標の日本国及び外国への出願、異議申立、審判の代理
- 特許訴訟の代理、侵害訴訟の代理及び補佐
- 知的財産権に関するアドバイス、会社、組合の顧問

少人数の事務所ですが、出願時には、特許明細書を発明者と面談して、作成をアドバイスし、拒絶理由通知時にも発明者等と協議して意見書なり補正書の作成をアドバイスします。

技術開発が進むと特許が必要になってきますが、特許は国別である為、それぞれの国へ特許申請をしなければなりません。そのため、皆様のお役に立つよう、外国の制度の研鑽に努めています。

#### 企業の皆さんへのアドバイス

○海外へ打って出るときは、当該国に特許出願すべきである事を忘れないでください。

○特許庁の特許公報を見ることも肝心で、今の技術を見ることは、新たな分野・技術に繋がります。

○商談に行く先の企業が持つ特許を知ることが肝要です。自分のライセンスとクロスライセンスの可能性がありうるからです。

○商談の前に新規技術を特許出願しておくことを勧めます。技術は秘密保持をお願いしても、漏れてしまうということを肝に銘じておいて下さい。



向かって右側 大貫 和保 (おおぬき かずやす) 氏

向かって左側 中田 修 (なかた おさむ) 氏

○知的財産紛争が多発していますが、その前に相談に来ていただきたい。特許権の権利範囲の解釈が一般常識を越える判断基準となっています。侵害を主張する側と、侵害であると主張される側とで、アドバイスの内容を異にし、事案に対し適切な判断を提供します。

相談は基本的に無料です。特許庁の電子図書館から得られた特許公報等、画面を見ながら特許相談を受け付けています。気軽にご相談ください。

# HISTORY of SIC

## 証言で綴るSICの歴史

～さがみはら子どもアントレプレナー体験事業～

相模原市危機管理局危機管理課 植村哲哉



平成9年に相模原市経済部産業振興課に配属され、部内の若手職員で自主的なワーキングを開き、産業に係る人材育成をテーマに話し合ったところ年代的に小中学生が参加できる事業が少ないことを感じたのが、そもそものきっかけです。

縁あって、平成12年10月からSICで仕事をすることになり、そこでスタッフの安藤さんと出会いました。私のほんやりとした「思い」と安藤さんの人脈、行動力が合わさり、「子ども向けの起業家教育事業」の企画が少しづつ形になりました。

基本的なプログラムは早い時期からアントレプレナー教育をスタートさせていた株式会社セルフワインから提供を受けること、親元から離してキャンプ形式で開催すること、子どもたちが作った商品を販売する場所の選定など、企画が見えてきたので「子どもアントレプレナー体験事業」の企画書を書きました。宿泊費、食費相当額を参加費で賄うとして、それ以外に200万円程必要でした。

当時の里見専務に企画書を見せたところ「事業費はSICからは出せない」と言われ、「市内企業から協賛金を集めます！」と勢いで返事をしました。他に方法が思いつかなかつたのです。その時は、200万円もの協賛金が集まるあても無く企画書はそのままお蔵入りになるところでしたが、SIC初代社長の松井さんが会社に来たとき専務が突然私を呼び、企画書を持ってこいと言いました。松井さんに協賛のお願いをしてくれたのです。すると、松井さんはその場で事業が実現できる額



H14年販売



H25年販売



H25年融資交渉

の協賛を約束してくれました。本当に驚きました。実現できる！という喜びと、本当にできるんだろうか？という不安とが入り混じった気持ちでした。

SICでは協賛金で事業はできないので、実行委員会を立ち上げ、協賛依頼の用紙など必要な物を買うため最初に自ら協賛し、それを原資に準備を始めましたが、応募があるのかなど本当に不安な毎日でした。

松井さんの協賛だけでも事業はできましたが、より多くの市内企業経営者の方が支援する起業家教育事業を目指し、企画書を持って多くの市内企業を訪問しました。SICの役員の方を含め、多くの方の熱意で、協賛金は280万円程になりました。SICに入居していたスタジオハーツの田村さんがイメージキャラクターをデザインしてくださるなど、お金ではない形での協賛もありました。

応募があっという間に定員オーバーになったのは驚きました。逆にプレッシャーもありましたが、なんとか当日を迎えることに。移動も多く、炎天下での活動もあったので、とにかく子どもたちの安全管理には特に気を配っていましたが、段取りが悪く、自分がちこち走り回っているうちに軽い熱中症になりました。

決算が終わり解散するとき、保護者が迎えにきたのに4年生の子が1人いません。慌てて自宅までの間を走り回って探しました。「一人で帰ってきましたよ」と、後からご家族から電話があり、胸をなでおろしたことも。親元を離れて「なんでも自分でやることを経験し、一人で帰れると思ったんでしょうか…。本当に恥ずかしい話ですが、今でも、何もなくて良かったと思います。

イメージキャラクターは、男の子は私、女の子はその年の4月に生まれた私の娘をイメージして描いてもらいました。私は、1年半という短い期間でSICを離れることになりましたが、「娘が参加できる年齢になるまで続けてほしい」と遺言を残しました。でも、まさか本当にここまで続くとは思っていませんでした。それも進歩しながら。この事業に関わった多くの方々の努力と熱意があってこそだと思います。

子どもアントレを最初に考えたとき、最終的な成果目標がありました。それは、参加した子どもたちが成長し、市内に就職し、今度は支援者になることです。そして彼らの子どもが参加することで、相模原にアントレプレナーの輪が広がると。欲を言えば参加した子がSICで起業した！なんて夢みたいです、最高ですね。

(ち) とってもとっても ちいさな旅

### 当麻山金光院 無量光寺山門 (むりょうこうじさんもん)

相模原市南区当麻に相模原市指定有形文化財に選ばれている山門があります。17世紀初頭の「高麗門」と呼ばれる形式の建築と推定され、この形式の門は神奈川県内には類例が少なく、その中で最大にして最古のものとして、きわめて貴重な文化財だそうです。一遍上人ゆかりの地「無量光寺」は、かながわの景勝50選、このお寺をめざす人々がよく行き来した道「当麻道」は、かながわの古道50選の一つに選ばれています。亀の形をした境内には、いくつかの遺跡もあります。心静かに悠久の時に心めぐらしてみるのもいいかもしれません。

最寄駅: JR相模線「原当麻駅」徒歩10分





## ロボットを活用した ライフ&ヘルスサイエンス業界への ビジネス展開を考える



### 第28回南西フォーラム

「ロボットを活用したライフ&ヘルスサイエンス業界へのビジネス展開を考える」※マッスルスーツ等の実機デモを行います。

日付:平成26年3月3日(月) 16:00~19:15

会場:ユニコムプラザさがみはら 入場無料



## 宇宙ロボット開発のすすめ

### 第6回宇宙科学研究会

モノづくり企業の為の「宇宙ロボット開発のすすめ」

月惑星表面での自由な移動を可能にするロボット技術や月惑星探査の変遷、日本の次期月惑星着陸探査計画などを紹介します。

日時:平成26年3月12日(水) 18:00~20:00

会場:相模原市立産業会館(3階大研修室) 入場無料

### SIC事業の報告

#### 子どもワークショップ第5回

##### 『科学研究所見学＆わくわく入浴剤作り』開催報告

平成25年12月14日(土)11組の親子が参加。重曹とクエン酸それぞれの水溶液を混ぜ、炭酸水を作る実験を見せてもらい、入浴剤の原理を理解し、親子で入浴剤を作りました。



#### 子どもワークショップ第6回

##### 『体験！はんだごて ライントレーサー作り！』開催報告

平成26年1月25日(土) 40組以上の応募をいただき、急きよ午前・午後の2部制にし、各回12組の親子が参加しました。難易度も高く、火傷の危険もありましたが、タクマ精工の社員の方々のご協力で実現しました。



#### テクニカルショーヨコハマ2014(パシフィコ横浜)

##### 出展報告！

かながわ環境関連ネットワーク事業は、平成26年2月5日(水)~7日(金)の3日間、「明日を担う神奈川ベンチャー」より3プロジェクトの成果を、また、当事業からは2プロジェクトの提案のご紹介をさせていただきました。



#### 平成25年度リーダー塾終了報告

平成19年度から始まった「SIC職場リーダー養成塾」も7年目を迎え、今年は12名の塾生を迎えるました。8日間に渡る様子や受講生の声をホームページに掲載していますので、是非、ご覧下さい。



### 2014.3- SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

- 3月3日(月) 第28回南西フォーラム
- 3月8日(土) 子どもワークショップ第7回
- 3月12日(水) 第6回宇宙科学研究会
- 3月13日(木)~14日(金)日台 建築・環境ビジネスマッチング
- 3月25日(火) The HINT 11
- 5月11日(日) SICアントレ・インターン事前説明会
- 5月25日(日) SICアントレ・インターン事前説明会



入居企業を募集しています。

#### SIC空室情報 (2014年2月24日 現在) ※賃料・共益費込み(税別)

部屋	空室数	賃料(月額)*
SIC-1	2	61,900円
	2	47,600円
SIC-2	-	-
SIC-3	1	38,800円

### 編集後記

2月14日から15日にかけて降り積もった雪は、全国18か所で120年ほど続く観測史上最大の積雪になりました。甲府で114cm、相模原市でも相模湖で73cmと「大雪特別警報」が出てもいいような大雪でした。子ども達は大喜びですが、大人は交通も仕事も大混乱、家では雪かきで筋肉痛が多発。SICの付近は、1週間過ぎても雪は融けずあちらこちらに行き場のない雪が積み上げられ雪山が出現しました。さて、トップページの(株)オンザウェイ様の集合写真のどこに野中社長はいるでしょう。答えはホームページで。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)  
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077  
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想をお待ちしています。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>